

# 地区持ち回り開催に！

# 岩手

# 連絡協

# No3

## 事業計画など決定

## 県連協総会終る

5月22日

平成五年度SAJ公認パトロール岩手県連絡協議会の総会が、五月二十一日(土)に北上市・水神温泉「東館」で三五名の出席(委任状含む)で開かれました。

総会には千葉純司会長(議長兼務)の挨拶、その後松草事務局長から平成四年度の事業報告と決算が報告され、満場一致で承認されました。

続いて、平成五年度の事業計画(案)及び予算(案)が提案され①情報紙の発行(年一回)②会費の未納者(八名)への督促③会員の拡大(県内の公パト百十五名中六三名加入)④総会の定

準備体操忘れずに



着化、来年は五月二十八日(土)に県北地区で開催を予定する。などを議論し提案通り決定しました。

さらに会員から提起された①一級の公パトで希望者には県スキーメモを幹旋(代

金別)②パト連絡協のネーム入りジャンパーを作成し幹旋(デザインは事務局に一任)などが、話し合われました。

今年は、田植え時期の遅れ等から参加状況が思わしくありませんでしたが、総会での活発な討論や、夜はにぎやかな懇親会と有意義な集いとする事が、出来たと思います。来年度以降も地区持ち回りで総会を開きますので、会員の会員拡大を含めたご協力をお願いします。

## 93 FIPS 総会

## 視察団に参加

第九回国際スキーパトロール連盟総会が、カナダで先頃開催されました。私達の仲間で、田山スキー場パトロール隊長の山本行男さんが「公式視察団」として参加されました。

研修会・パーティー及びスキーイング等すべてに参加し、有意義な視察だったと思います。これから身直の仲間がどしどし参加してほしいものです。(参加報告はウラ面へ)

会費の送金は郵便振替口座で  
盛岡 6-34396  
SAJ公認パトロール  
岩手県連絡協議会

## リフトによって降り方が違うので注意して下さい。

- ① 初めてリフトをご利用される方は遠慮なく係員に申し出て下さい。
- ② 乗るときはストックを手に束ねて持つ。
- ③ 乗車位置では2人乗り以上は他の人とスキーを揃えて椅子を待つ。
- ④ 乗ったら椅子には深く腰かけ、ストックはしっかり持つ。1人乗りは支柱と反対側にストックを揃えて持つ。
- ⑤ 横向き乗りや椅子をゆさぶることは事故のもと!
- ⑥ 終点が近づいたらスキーの先を上げて降りる用意を!
- ⑦ 降車位置で、同乗者は同時に立ち上がる。
- ⑧ 直進降りでは隣の人とぶつからないように真つすく降りて。
- ⑨ 次の人が降りるのに迷惑にならないようすみやかにゲレンデに移動しましょう。

リフトは正しく乗り降りを!

乗るときも大事だけど、降りるときは、特に注意しよう!!

## 国際スキー・パトロール連盟総会視察に参加して

年の暮れ12月29日頃、県連から一通の手紙が来た。何かと聞いて見るとそれは「国際スキー・パトロール連盟総会公式視察団」の募集だった。企画は財団法人（全日本スキー連盟）旅行担当は（西部トラベル株式会社）でした。私は、その案内状にじーと目をとった後、“出来れば行きたいなぁ”と思った。ただ、この総会内容が良く分からないので県連事務局の松草さんや紫波町の阿部さん（網張スキー場勤務：全日本スキー連盟役員）高橋さん（白馬観光開発会社勤務：全日本スキー連盟安全対策部委員長）らから聞き参加する気持ちになり、勤めている上司から承認を得て家族の同意を取り参加申込みをした。申込みをしてから、カナダの事について現在安代町に在住している英語指導助手（Margot Cathcart）からも聞いたが益々行く気持ちが高かった。夢にまで見た「ロッキーマウンテンのスキーイング」が実現した。私は海外旅行は2回目だが勿論カナダは初めてだ。いよいよ出発の時が4月3日に来た。成田空港の4階南ウイングにぞろぞろ集まって来た。今回の視察団は総勢35名である。全日本スキー連盟の渋山会長を初め医師、大学教授、事業家、会社員、公務員等多種多用である。

成田空港を定刻の午後7時に出発し、9時間位でバンクーバーに着いた。そして国際線にてカルガリー空港に4月3日の午後2時過ぎに着いた。現地にはカナダのパトローラーらの出迎え受け、用意されたバスでホテルに向かった。言われているように外は平地で広く残雪がなかったので、国土はクリーム色に見えた。さすが広大なカナダだと思った。カルガリーの中心地だけ高層ビルディングが建ち並び、それはほんの数キロメートルだけでその周囲は一階建ての低い住宅が多く、一面川原の石（岩）ころを並べたようにも見える。あとで聞いたのですがこれは市の建築規制でそうなっているという。ホテルに着いてまず、受付をした。受付は現地のパトローラーの人達であった。私の番になった時に受付簿の見ながら「My name is yukio yamamoto」と言ったら「Yes Ok」と返事があり一瞬はっとした。その日の夕食はパトロールの仲間と一緒に会食し、懇親を深めた。その晩のホテルの部屋から見るネオサンサインは日本の夜の都会と同じくきれいだっ。

次の日の（4月4日）は朝からバスでカルガリー市のオリンピック施設の見学をした。冬季オリンピックは5年前の1988年に行われたようですが、開会式場、アイスホッケー、90・70メートル級のジャンプ会場等を見て目指すロッキーマウンテン西へと向かった。道路は広く、道路の両側には牧場が広がり見あたり限り続く。2時間位乗ってから雪を被ったロッキーマウンテンが見えて来た。そこでバスは停車し、余りに美しいので視察団全員が下車、

して各々記念撮影をした。それからまた西へ向かい、ロッキーマウンテンに入ったら大きな2〜3,000メートル級の山々の山麓にはトドマツに似た針葉樹が一面に広がっている。その当たりの道路にも雪がなかった。その後バスガイドから「あれがナキスカスキー場です」と案内があった。一瞬、でかいけれど我が安代町の「安比高原スキー場」に一寸似ているなぁと思った。そしてその近くの宿泊施設「カナキス・ロッジホテル」に約1週間お世話になることになった。

そのホテルからは「ナキスカスキー場」まで2キロメートル、「サンジャイン・ビレッジスキー場」「ノーケイスキー場」「バンフ」まで約50キロメートル位で一番遠い「レイク・ルイズスキー場」まで70キロメートル位、車で約1時間半のところである。スキー場の積雪は1〜3メートル位で温度は夜はマイナス10℃位で日中はプラス5℃位まで上がった日もあった。北緯50°にしては以外に寒くないなぁと感じた。

視察は研修会議組、スキーイングを楽しむ組、ショッピングの組等自由に選択出来た。私はバーティ・開会式・研修会議・スキーイング・ショッピング・ショッピング等すべてに参加させていただいた。やはり英語圏なのでこれは予想していたとおり英語力が必要だった。私には幸い今、英語指導助手が私の隣の隣にいたので予備練習が少しでも出来ていたので良かった。まず、視察団に参加して

- ① 憧れの海外旅行カナダでロッキーマウンテンのスキーが出来たこと。
- ② カナダはとて環境整備・自然保存に力を入れていること。
- ③ 広大な国土のためそこに住む人の性格がおっとりしていること。
- ④ 私の「Japanese English」が通じたこと。
- ⑤ カナダにパトロールの友人が出来たこと。
- ⑥ 人間であれば自然環境の感ずることは同じだが、考え方が違うこと。
- ⑦ カナダ人・カナダが隣人・隣国に見えて来たこと。
- ⑧ 食事・パーティの会食は日本の文化が進んでいる。

と10間の旅で感じた。

今度また、チャンスがあまりまら行ってみてみたい国の一つである。

平成5年 6月22日

1993 FIPS視察員

安代町菅田山スキー場

パトロール隊長 山本 行 男